

聖学院中学校 BYADガイド

～ 学校指定端末購入のお願い ～

はじめに

聖学院中学校では、入学時に生徒一人一台の専用端末を準備していただき、登校時に持参していただく取り組みをしています。専用端末の導入によって、より効果的な授業の実践やICTリテラシーの成熟が実現でき、学校内外での学びがより充実していくものと考えています。

一人一台端末の運用形態にはいくつかの種類がありますが、本校では「BYAD (Bring Your Assigned Device)」を採用しています。学校側が指定する端末を各ご家庭で購入いただき、登校の度に持参・持ち帰りしていただく運用です。端末の所有権は各ご家庭にあります。学校内での運用については学内のルールが適用されます。

以下の条件をお読みいただき、なるべく早く端末の準備を始めていただきますようお願いいたします。

学校指定端末

【必ず準備していただきたいもの】

- ◆ 2019年以降に発売された Apple 社 iPad, iPad Air, iPad Pro
 - ◇ 推奨機種は、iPad (第8世代) です。
 - ◇ 必ず記名 (シールや刻印) をお願いいたします。
- ◆ iPad に対応したキーボード
 - ◇ Apple 純正キーボードである必要はありません。
 - ◇ 価格、打ちやすさ、携帯性などが異なるさまざまな対応キーボードが売られています。生徒本人に最も適したキーボードをお選びください。

【必須ではないがあると望ましいもの】

- ◆ 物損保証への加入を強くおすすめします
 - ◇ 最もポピュラーな保険は、AppleCare+ (2年間) です。iPad 購入時に加入することができます。
 - ◇ 販売店によっては独自の保険に加入できることがあります。自然故障だけでなく、過失・事故等に対応した物損保証がついているものを強くおすすめします。
- ◆ 個人賠償責任保険への加入を強くおすすめします
 - ◇ 他人の端末を壊してしまった場合等に対応できます。
 - ◇ iPad が保証対象に含まれるのか、など条件をよくご確認ください。
- ◆ 保護ケースや液晶保護フィルム
 - ◇ 落下時の破損リスクを低減させることができます。
- ◆ ヘッドセットまたはイヤホンマイク
 - ◇ マルチメディア教材の利用時や、オンライン授業受講の際に、周囲に迷惑をかけずに集中して学びを進めることができます。

【あると便利だが無くても困らないもの】

- ◆ スタイラスペン (Apple Pencil または互換品)
- ◆ モバイルバッテリー

ご自宅で利用するための準備

【インターネット環境】

- ◆ **ブロードバンド回線**（常時接続）が必要です。ブロードバンド回線とは、大量の動画を見たり、たくさんのファイルをダウンロードしても通信が遅くならない回線のことです。
- ◆ **Wi-Fi**（無線LAN）が必要です。Wi-Fiが無いと、ご自宅で課題に取り組んだり、オンライン授業に参加することができません。

【事前の設定や制限について】

- ◆ Apple IDは事前に設定いただいて構いません。（Apple IDに用いるメールアドレスに規定はありません。）
- ◆ パスコードなどの端末ロックは必ず設定してください。パスコードがかかっていない端末では一部のアプリが動作しません。
- ◆ **ご家庭内での端末使用について、ルールや制限を設けることを推奨します。**
 - ◇ 家庭内で端末使用のルールについて話し合ってください。
 - ◇ iPadの管理機能（スクリーンタイム）を使って、iPadの使用制限をかけることができます。
 - ◇ 一部のWi-Fiルーターには、インターネットの使用時間制限をかけられるものがあります。
 - ◇ 不適切なサイトへのアクセスをブロックしてくれるサービスもあります。（有料プランが多いです）

【必要なアプリとサービス】

- ◆ 使用するアプリやサービスは事前にご案内します。ご自宅でインストールを済ませてから登校してください。
- ◆ 本校では学習基盤としてGoogleやMicrosoftのサービスを導入しています。これらの利用に必要なアカウントは、入学後に学校から配布されます。導入法や使い方についてのレクチャーの機会も設けます。

2021年度にご負担いただくICT関連教材費

現時点でおおよそ決定しているもののみお知らせします。学年や教科方針によってはさらに追加のデジタル教材が案内される場合があります。

- ◆ iPad ￥38,280(税込)～
- ◆ キーボード
- ◆ ロイロノート およそ￥6,600/年（学校側で一括契約し、教材費として引き落としさせていただきます）
 - ◇ インタラクティブな学びを実現する学習支援ツールです。
- ◆ スタディサプリ およそ￥6,000/年（学校側で一括契約し、教材費として引き落としさせていただきます）
 - ◇ 予習、復習、学び直しなどに有効なオンデマンド動画教材集です。
- ◆ 授業目的公衆送信補償金 ￥180/年（学校側で手続きします）
 - ◇ 著作物をオンライン授業で使用する際に管理協会に支払う補償金です。

よくある質問と回答

【端末選び・推奨性能に関する質問】

1. iPad でなければだめですか？（Windows や Chromebook ではだめですか？ iPad mini はだめですか？）
 - iPad のみに対応したアプリを用いることがあるため、他の端末では授業に参加することができません。
 - iPad Air や Pro は高性能ですが、最も安価な iPad でも不自由・不利益とならない授業を行いますので、無理に上位機種を購入いただく必要はありません。
 - iPad mini はコンパクトである反面、画面が小さいという欠点があります。生徒によっては作業効率が落ち、学習効果が低くなる可能性があるため、推奨機種には含めていません。
2. iPad には、Wi-Fi モデルとセルラーモデル（4G LTE に接続できるモデル）がありますが、どちらを購入すれば良いですか？
 - 授業中は学校の Wi-Fi が使用できますので、セルラーモデルが必要になる場面はありません。どちらを購入されるかはご家庭の判断にお任せいたします。
3. 端末の保存容量はどれくらいあればいいですか？
 - iPad であれば、32GB モデルで十分です。たくさんのアプリをインストールすると、写真や動画の保存に支障が出ますが、学校提供のサービス「Google ドライブ」を使うことで、データは無制限にバックアップできます。

【端末購入に関する質問】

1. 中古機でも良いですか？
 - 条件を満たす端末であれば中古機でも構いません。
2. iPad を学校としてまとめて購入し、それを各家庭に再販売することはしないのですか？（学校は購入の代行をされないのですか？）
 - 新品の Apple 製品に関しては、個人で購入されるのが、最も安価に、かつ早く入手できる方法です。
 - Apple 製品の場合、学校がまとめて購入しても単価は下がりにくいです。それどころか、代理店を介して購入する事例が多いため、むしろ単価が上がり、時間もかかってしまいます。学校が購入代行をしないことこそが、ご家庭の選択肢（端末選びや保証の種類）を増やし、経済的負担を軽くすることにつながると考えています。
3. 学割はありますか？
 - Apple 公式ストア（Apple Store for Education）で購入する場合に限り、条件を満たす方（PTA 役員など）は学割価格で購入することができます。
4. iPad 本体への刻印にデメリットはありますか？
 - Apple 公式ストアで購入した場合のみ、無料で iPad 本体に刻印（記名）をすることができます。
 - 刻印による記名には、絶対に消えないというメリットがある一方、「納期が延びる」「端末を売却する際の評価額が大幅に下がる」「そもそも売却できない」などのデメリットが考えられます。

【すでに持っている端末が使えるかどうかの質問】

1. すでに端末を所有していますが、ゲームアプリなどが入っています。これを持たせても良いでしょうか？
 - すでにアプリ等が入っている端末を持参いただいても構いません。授業で必要なアプリやサービスは別途インストールしていただきます。
 - SNS やゲームなど、学校生活に不要なアプリやサービスを校内で使用することはできません。

【周辺機器やアプリに関する質問】

1. Microsoft Office は必要ですか？
 - 購入の必要はありません。全生徒に Office を無料で配布できるように、準備を進めています。
2. どのようなアプリの利用を予定していますか？
 - Google 系のアプリ（Classroom、Google ドライブ、Google ドキュメントなど）を主に利用していきます。
 - ブラウザ上で動くクラウドアプリも利用していきます。推奨ブラウザは Google Chrome です。
3. スタイラスペンを購入する必要はありますか？
 - スタイラスペンの利用を必須とする授業の計画はありません。よって、学校として購入をお願いすることはありません。
 - ただし、スタイラスペンがあると作業効率が高まる場合がありますので、購入されるかどうかはご家庭の判断にお任せいたします。

【学校や自宅のインフラに関する質問】

1. 授業中は学校の Wi-Fi を使わせてもらえるのですか？（モバイルルーターやテザリングを別途契約する必要はありますか？）
 - 授業中は学校の Wi-Fi が使用できますので、別途携帯電話回線を契約していただく必要はありません。
2. 学校に充電設備はありますか？
 - 原則として、学校の電源を使用することはできません。ご自宅で毎日充電をしてから登校してください。
3. iPad を子供に使わせるにあたって、どのような制限をかけるべきでしょうか？
 - 機械的な制限にはいろいろな種類があります。
 - 「アクセスできるサイトを制限する機能」「使用したアプリや利用状況をモニタリングする機能」「指定アプリの起動を制限する機能」「指定時刻以降の操作を禁止する機能」「子どもの現在地を追跡する機能」などがあります。
 - 学校の Wi-Fi には、不適切サイトにアクセスしにくくなるフィルタリングがかけられています。

【今後の学校の方針に関する質問】

1. 今回購入した端末は何年間使用する予定ですか？
 - 近年の端末は、メーカーが OS やセキュリティのアップデートサポートを提供している期間が実質の耐用年数とされています。多くの場合、公式サポートは 3～5 年続きますが、2～3 年を過ぎてくると、バッテリーが寿命を迎えたり動作が緩慢になってくることも多くなります。一人一台端末を導入している学校の多くは、3 年ごとに買い換えを促しているようです。それらの現状をふまえて本校では、およそ 3 年が耐用年数の目安となると考えています。
2. フィルタリングや端末使用制限などを、学校主導のシステムとして導入する予定はありますか？
 - 学校側が生徒の端末に管理アプリをインストールし、遠隔操作によって使用状況を監視したり使用の制限をかけたりするしくみを、MDM といいます。
 - 本校では MDM の導入は考えていません。学校側がすべてを縛るのではなく、生徒の主体性や自律性を促し、学校・ご家庭・生徒が協力して端末の使い方やルールについて考え、行動していくことが、BYAD のあるべき姿であると考えています。